

第5章

良好な景観の形成 に関する方針

- 1 目指す都市景観
- 2 景観形成の理念
- 3 本計画における基本姿勢
- 4 景観形成の目標
- 5 景観形成の基本方針



第5章 良好な景観形成に関する方針

1 目指す都市景観

千三百年の歴史を誇る本市は、歌枕の地「千賀の浦」と奥州一宮「鹽竈神社」の風光明媚で荘厳な景観に包まれて今日の風土を築き発展してきました。

この基軸は不変であり、これからも未来に向けて魅力あるみなとまち・門前町を守り育てていかなければなりません。

そこで、新たな「景観十年、風景百年、風土千年」の創造に向けて目指すべき都市景観を「海と社が織りなす美しいまち塩竈」とし、その実現のため取り組んでいきます。

2 景観形成の理念

まちの景観資源を見出し、市民が育てて、それを持続していくためには、次に掲げる3つの要素がとて重要です。

市民と行政、事業者と一緒に考え、行動にしている経過を明示することで、良好な景観を形成していきます。



浦戸諸島の沖を行き交う遊覧船

まちを「知る」

まず、地域に何があるのか、それを知ることが第一歩です。地域の景観資源は、歴史や文化、産業などにより培われてきたものであり、それらに関心を持ち、その風土、背景を知ることによって愛着が湧き、そして大切に気がつき、守ろうという気持ちになってきます。

まちを「創る」

次に、景観とは保全することだけではありません。失われた風景を再生したり、新たに生み出したりしていくことが大切です。そのために、市民と行政、事業者が力を合わせて取り組むことで、魅力的なまちが創られていきます。

まちを「育む」

まちを知り、創ることを持続させていくことが必要です。共通の目標、ビジョンを持った市民や行政、事業者が、維持管理のための仕組みを共有し、行動していくことで、まちの景観を守り育てることになります。



鹽竈海道（表参道前）
昭和63年頃



現在



3 本計画における基本姿勢

第5次 鹽竈市長期総合計画 では、目指す都市像を『おいしさと笑顔がつどう みなとまち 鹽竈』と掲げ、重点戦略を「定住」「交流」「連携」と定めています。

本計画も、この重点戦略を踏まえて、目標の実現に取り組みます。



ボランティアによる植栽活動

(1) 定住環境の向上

本市は、人口減少、少子高齢化の傾向が続いており、定住促進に積極的に取り組み、地域の活力を維持・創出していくことが求められています。

このため、「いつまでも住みたい、住んでみたいまち」となるような景観形成を展開しながら、定住環境の向上を目指します。

(2) 交流拡大への寄与

本市は、古くから陸奥国一宮鹽竈神社への参拝に多くの人々が訪れ、また、鉄道と港湾の交通結節機能を生かした産業の発展により、多くの人々が交流し、鹽竈らしい都市文化を形成してきました。

これからも賑わいのある「訪れたいまち」となるよう、鹽竈の地域資源を生かしながら魅力的な景観を形成して、交流拡大への寄与を目指します。

(3) 市民文化の醸成

本市は、市民との連携を強化し、市民が主体のまちとなるよう、互いに尊重し合い、情報を共有する取り組みとともに、共通の目標に向かい、それぞれの力を発揮できる環境づくりを進めています。

このため、景観形成においても、市民が地域を知り、行政や事業者とともに創り、育むことにより豊かな暮らしを実感でき、より一層自らのまちに愛着を持つことにより、市民が主役となりまちづくりを推進する文化の醸成を目指します。

市民の声

壁や屋根の色など、統一された箇所があれば、昔の門前町のイメージが再現できるかもしれません！



薬しお姫



「暮れゆく門前町」
(宮町地区)



4 景観形成の目標

これからの良好な景観形成に向けた取り組みの柱として、景観の課題を踏まえ、塩竈市における目指すべき景観を「海と社が織りなす美しいまち塩竈」とし、その実現のため、景観形成の目標を以下のとおり定めます。

(1) 社や海からの景観を守る

本市は、古より受け継いだ、海、島々、丘陵が織り成す風光明媚な自然景観を有しています。特に、社や海などから望む眺望景観は、市民に広く親しまれ愛されています。

このような本市の特徴的な自然景観、美しい眺望景観を大切に、財産として将来にわたり維持・保全していくために、自然環境とともに、社から海を望む景観、並びに海から社や丘陵を望む景観を守ります。

(2) みなとまち・門前町の景観を未来につなぐ

本市は、古くから国府多賀城の津、奥州一宮鹽竈神社の門前町として栄え、これを礎に発展してきました。このため、市内にはその足跡や風情が残り、歴史や文化に培われた特色ある独自の景観が形成されています。

これらは、まちのイメージを形づくっており、今後も変わらぬ本市の基軸であることから、それを生かし、育んでいくために、みなとまち・門前町の景観を未来につないでいきます。

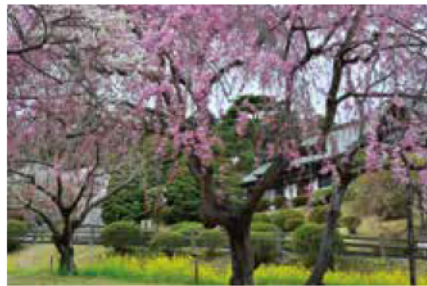
(3) 塩竈らしい愛着と誇りがもてる景観の街を創る

本市は、明治時代以降、東北有数の港湾都市、全国有数の漁港・水産加工のまちとして発展し、成熟した都市となりました。しかし、近年は、市街地の空洞化が進み、まちとしての求心力や生活環境の向上が求められています。

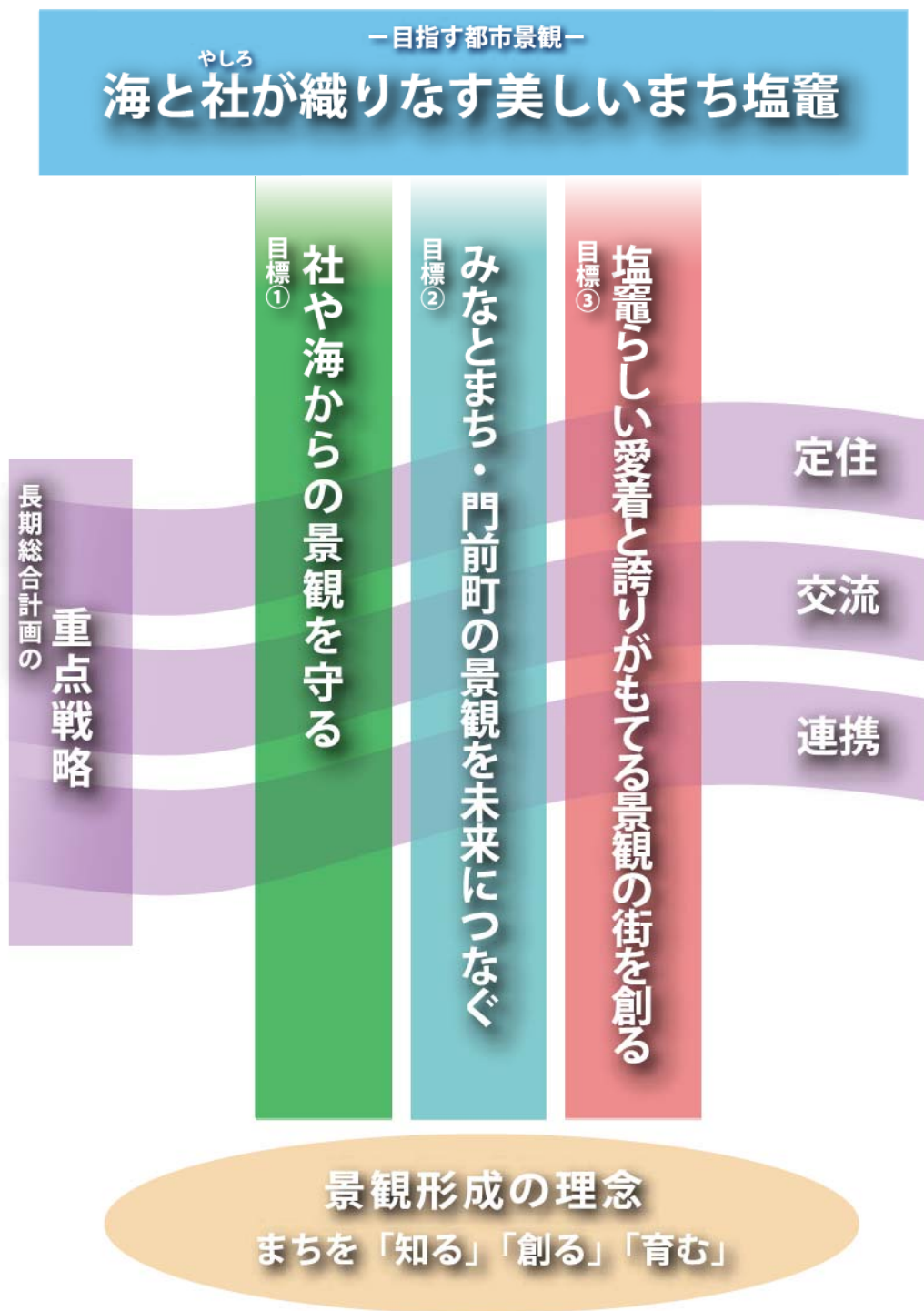
このため、本市が有する様々な個性を魅力として生かし、「いつまでも住みたい、住んでみたい、訪れてみたいまち」となるように、質の高い都市空間を実現し、塩竈らしい愛着と誇りがもてる景観の街を創ります。



「春の境内」
(鹽竈神社御神苑)



<景観形成の全体像>



序章
 第1章
 第2章
 第3章
 第4章
第5章
 第6章
 第7章
 第8章
 第9章
 第10章
 付属資料

市民の声

鹽竈神社から海の方
向へのラインには、
大きな目立つ広告物
はさけて欲しいと思
います！



「クレーンのある街」



5 景観形成の基本方針

本計画における基本姿勢を踏まえて、景観形成の目標を実現するための基本方針を以下のとおり定めます。

基本方針1 守る

～社から海を望む景観・海から社を望む景観～

古から受け継いだ美しい眺望景観を大切にし、財産として将来に維持・保全していくため、社や海からの景観を守ります。

1) 社から海への眺望景観の保全

- ・鹽竈神社の視点場からの眺望は、古より受け継いだ本市を代表する眺望景観であり、海や島々への眺めと調和した市街地景観の保全を図ります。
- ・社から海への美しい眺望景観は、近景が果たす役割も大きく、社の視点場周辺の樹木等の保全を図ります。



鹽竈神社御神苑からの眺望

【建築物等の配慮方針】

- 鹽竈神社からの眺望景観の範囲内にある建築物等は、海や島々への眺望を阻害することのない高さや配置とします。
- 建築物等の色彩は、海や島々による自然景観に調和したものとします。



「カモメと伴に」
(塩竈みなと祭 7月第3日曜日)



2) 海から望む丘陵地景観の保全

- ・港や島々から市街地、丘陵部を望む眺望景観は、塩竈の地形が織り成す特有の眺望景観であり、丘陵部の緑や稜線と調和した市街地景観の保全を図ります。
- ・マリゲート塩釜等の塩釜港沿岸の施設は、海からの眺望景観において重要な要素となることから、景観に配慮した整備を誘導します。



浦戸諸島から望む市街地

【建築物等の配慮方針】

- 海からの眺望景観の範囲内にある建築物等は、丘陵部の緑や稜線への眺望を阻害することのない高さや配置とします。
- 建築物等の色彩は、丘陵部の緑や市街地の建築群に調和したものとします。

3) 丘陵地から海を望む眺望景観の保全

- ・梅の宮神社等の公共性の高い高台から海や島々を望む眺望景観は、周辺住民が愛着を持った眺望景観であることから、保全に努めます。
- ・丘陵地の坂道等の公共空間から海や島々を望む眺望景観は、日々の生活の中で望める親しみのある眺望景観であることから、保全に努めます。



千賀の浦を望む眺望

【建築物等の配慮方針】

- 市街地部の建築物等は、丘陵地から海を望む眺望景観に調和した高さや色彩とします。

市民の声

子ども達には、学校教育の中で、塩竈の地域文化や景観を伝えていくことが大切だと思います！



観光のしおがま
写真コンクール
「秋陽」
(鹽竈神社境内)



4) 緑と家並みが調和した自然景観の保全

- ・浦戸諸島と杉ノ入裏地区に広がる豊かな緑は、日本三景松島を彩り、眺望景観の主要な対象となります。特別名勝松島の法規制により保護しながら、島々の緑と調和した家並みの形成を図ります。
- ・一森山等の丘陵部に残る貴重な緑は、景観的観点から保全に努め、周辺部においては、緑と調和した潤いのある家並みの形成を図ります。



緑豊かな浦戸桂島の石浜地区



鹽竈神社の鎮守の森である一森山

【建築物等の配慮方針】

- 特別名勝松島や一森山等の貴重な自然資源周辺の建築物等は、これら緑と調和した高さや色彩とします。



基本方針2 つなぐ

～未来に向けた、みなとまち・門前町の景観～

本市の歴史や文化に培われてきた特色ある独自の景観を生かし育むため、みなとまち・門前町の景観を未来につなぎます。

1) みなとまちの風情を感じる景観の形成

- ・塩釜港周辺は、みなとまちの風情を感じることができるよう、建物等のたたずまいに配慮した市街地景観の形成を図ります。
- ・塩釜港周辺において新たに整備する防潮堤や緑地等は、景観に配慮した整備を図るとともに、港湾周辺における美化活動も併せて促進することにより、美しいウォーターフロントの景観形成を図ります。



塩釜港

【建築物等の配慮方針】

- 塩釜港周辺の建築物の外壁は、みなとまちを特徴付ける塩竈石の色彩や風合い等を生かします。
- 塩釜港周辺の通りの街並みや眺望景観を構成する建築物は、みなとまちの風情を感じる意匠等とします。

市民の声

外壁の色や形状など
建て主にも協力を願
い、地域全体のこと
を考えていくことが
必要だと思います！



蕨しお姫



「四季桜と紅葉」
(鹽竈神社社務所)



2) 門前町における独自の歴史的・文化的景観の継承

- ・門前町を象徴する町家、邸宅、岩蔵等の歴史的・文化的資源は、本市独自の重要な景観資源であるため、これらの資源の保全を図ります。
- ・門前町の沿道は、地区の趣と調和させた建築物等による魅力的な街並み景観の形成を図るとともに、沿道から神社境内緑地を望む眺望景観についても、街並みを調和させて保全を図ります。
- ・一森山を中心とする社寺林等の樹木は、門前町に潤いと風格を与えるとともに、重要な自然的景観資源であるため、これらの資源の保全を図ります。



まち歩きをする小学生



市民力で再生された町屋



土蔵前でのイベント



イベントでの人力車

【建築物等の配慮方針】

- 門前町の沿道の建築物等は、魅力的な街並み景観の形成に向けて、町家、邸宅、岩蔵等の歴史的・文化的資源のたたずまいと調和した形態・意匠、色彩とします。
- 門前町の沿道の建築物等の配置や高さは、沿道からの一森山への眺めを阻害しないものとします。



「光残る塩釜港」



3) みなとまちや門前町の特徴を生かした公共空間の整備

- ・港湾周辺は、産業活動の場であるとともに、人々をひき付ける水辺の都市空間であるため、人々が海と親しめるように景観に配慮した施設の整備を推進します。
- ・門前町において多くの人々が通る歴史的な街道や参道等は、地区の特性を生かした整備を推進します。



マリゲート塩釜

【建築物等の配慮方針】

- 塩釜港沿岸の公共施設は、人々が海と親しめるような魅力のある形態・意匠とするとともに、みなとまちを特徴付ける塩竈石の色彩を主に生かします。
- 門前町の公共施設は、地区の歴史性を生かした形態・意匠、色彩とするとともに、敷地内の緑化を行います。

4) みなとまちや門前町のイメージを高める景観の創出

- ・民間の商業施設や業務施設等の整備は、みなとまちや門前町のイメージを生かし、賑わいにつながる外観デザインとなるように誘導します。



マリゲート塩釜展望台



壺番館展望台

【建築物等の配慮方針】

- 民間の商業施設や業務施設等は、みなとまちや門前町のイメージを生かした形態・意匠、色彩に誘導します。

市民の声

町内会のアイデアを競い合わせたり、学生も参加した活動をしていく必要があると思います！



「恵比寿大國舞」
(塩竈神楽)



基本方針3 創る

～愛着と誇りがもてる美しく魅力的な景観の街～

本市が有する様々な個性を魅力して生かし、「いつまでも住みたい、住んでみたい、訪れてみたいまち」となるように、塩竈らしい愛着と誇りがもてる景観のまちを創ります。

1) 住宅地における質の高い落ち着いた景観の形成

- ・住宅地内の建物等のたたずまいを調和させて、愛着を持つことができる質の高い家並み景観の形成を図ります。
- ・建物等の色調は、周辺と調和した落ち着いた色調とすることにより、良好な住宅地景観の形成を図ります。
- ・緑は、生活に潤い感や安らぎ感をもたらすことから、生垣の設置等による緑豊かな家並みや、緑を身近に感じる住宅地の形成を図ります。



塩釜港を望む北部住宅地

【建築物等の配慮方針】

- 住宅地の建築物は、周辺の家並みと統一感のある形態・意匠、高さとするとともに、落ち着いた色彩とします。
- 住宅地の工作物等は、周辺景観と調和させます。
- 住宅地の垣・柵については、生垣の設置等による緑化を行います。
- 住宅地にある公共空間については、緑化を行います。



「桜ののれんに望む」
(志波彦神社)



2) 緑と家並みが調和した美しい丘陵地景観の形成

- ・丘陵地に造成された住宅等は、本市特有の眺望景観の要素となることから、傾斜に沿った良好な家並みの形成を誘導します。
- ・緑と家並みが調和した美しい丘陵地景観を形成するために、住宅地の法面等については、緑化を促進して良好な緑の環境の保全に努めます。
- ・丘陵地の住宅地における坂道では、眺望景観やアイストップ、通りの雰囲気などを生かした家並みの景観を誘導し、憩いの空間や小広場を設けることに努めます。



西部丘陵地



北部丘陵地



南部丘陵地



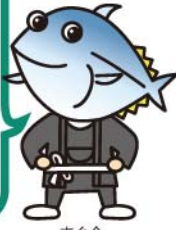
南部～東部丘陵地

【建築物等の配慮方針】

- 丘陵地の斜面にある建築物は、眺望景観に配慮して地形と調和した形態・意匠、高さとするとともに、周辺の緑や家並みと調和した色彩とします。
- 丘陵地の斜面においては、緑化を行います。
- 丘陵地の坂道沿道の家並みや工作物の形態・意匠、色彩は、個性ある坂道の景観に配慮します。
- 丘陵地の坂道では、坂道自体が地域資源となるような道路整備を行います。特に、踊り場等の安全で魅力的な空間の創出を行います。

市民の声

ゴミ拾いなどのボランティア活動に参加して、道をきれいにしていきたいと思えます！



まぐ介



「66年振りの春の雪」
(鹽竈神社境内)



3) 市街地における魅力的で美しい景観の創出

- ・本塩釜駅は、本市の中で観光客が最も多く利用する駅であることから、周辺を市の玄関口にふさわしく、賑わいを創出する魅力的で美しい都市空間の形成を図ります。
- ・塩釜駅は、本市の中で乗降客が最も多く、通勤・通学に利用されていることから、地域交流の場にふさわしい都市空間の創出を図ります。
- ・多くの人々が集まる公共空間については、魅力的な市街地景観の形成に資するよう先導的な景観整備を推進します。



塩釜駅光る歩道とイベントスペース



塩釜駅前



本塩釜駅アクアゲート口



東塩釜駅西口

【建築物等の配慮方針】

- 鉄道駅周辺の商業地の建築物等は、住民や来訪者等に親しまれるような演出や美しい街並み形成に資する形態・意匠、色彩とします。
- 通りに連続した商業地の建築物等は、通りのスカイラインに配慮した高さとします。
- 鉄道駅周辺の公共施設は、多くの人々を呼び込むような魅力的で美しい形態・意匠、色彩とします。



海岸通地区
(震災直後)



現在

4) 幹線道路沿道における良好な景観の形成

- ・市内外の交通アクセスの中心となる幹線道路沿道は、本市の骨格にふさわしい良好な街並み景観の形成を誘導します。
- ・幹線道路道路は、多くの人々が通ることから、美しい舗装整備や植栽等による良好な道路空間の形成を図ります。



鹽竈海道



鹽竈海道 (赤坂交差点)



宮町一号線



主要地方道 泉塩釜線

【建築物等の配慮方針】

- 幹線道路沿道では、建築物等の形態・意匠、色彩、高さが連続し、美しい街並み景観となるように配慮します。
- 幹線道路は、周辺の街並み景観に配慮した形態・意匠、色彩の道路施設とするとともに、歩道の緑化を行います。

おかし
桜菓子姫

景観コラム『景観十年、風景百年、風土千年』

花街の面影残す「塩竈の都市景観」

江戸時代の文芸作品である井原西鶴の「好色一代男」に塩竈が登場することをご存じですか。

諸国を放浪する主人公の世之介が花街を求めて塩竈に現れ、鹽竈神社の舞姫に心を奪われて大失敗する場面となっています。この物語が天和2年(1682年)の作品であることから、当時、塩竈が花街として全国的に知られていたことがうかがえます。

▼左) 鹽竈街道「好色一代男」の文学碑(西町)
右) 「歳時記装置」(表坂)



塩竈に花街がいつごろできたのかは分かりませんが、仙台藩では万治3年(1660年)に仙台北下城下のものは塩竈に移され、特別に塩竈と石巻だけ黙認されました。城下に近いことから大変繁盛し、幕末には72軒あったと記録が残っています。

このことから「道そのものが博物館」として整備した「鹽竈海道」には、「好色一代男」の文学碑を展示し、表坂の「歳時記装置」では、定刻になると「塩釜甚句」の音楽とともに、世之介と遊女、舞姫のカラクリ人形が踊ります。

鹽竈海道沿線の景観の中に在りし日の風情を見つけてみませんか。

【参考文献：塩竈市史本篇Ⅰ、塩竈市史別篇Ⅱ】

問 都市計画課まちづくり推進係 ☎ 364-2510

広報しおがま平成 27 年 10 月号掲載

景観コラム『景観十年、風景百年、風土千年』

文明開化の夢漂う「塩竈の都市景観」

本塩釜駅周辺の海岸通は、かつて「開港場」と呼ばれていたことをご存じですか。本市は江戸時代、四代藩主伊達綱村の恩典で賑わいましたが、明治維新で藩の保護を失い、次第に寂れていきました。

そこで、戸長(村長)の菊地雄治やまちの有志が村民を説き、寄付金6,000円と家ごとに延べ17人の労働奉仕を決め、明治15年(1882年)、国の補助を受けて築港工事が始まりました。明治18年(1885年)、現在の本塩釜駅付近を埋め立て、南・北延長550mの築堤が完成し、近代港湾に向けて第一歩を踏み出しました。さらに、明治19年(1886年)、東北本線の敷設資材運搬のため、南築堤の背後を埋め立てて鉄道が敷設され、明治20年(1887年)に東北初の鉄道として上野～塩竈間が開通しました。

当時の人々が「開港場」と呼んで夢見た国際貿易港は、大正から戦後の築港工事を経て発展しました。現在、復興に向けて海岸通の再開発事業が進められています。新たな都市景観をみんなで創っていきましょう。

【参考文献：塩竈市史本篇Ⅱ、別篇Ⅱ、塩竈の歴史】



▲明治時代「開港場」と呼ばれた海岸通周辺



▲現在(本塩釜駅東側からの眺望)

問 都市計画課まちづくり推進係 ☎ 364-2510

広報しおがま平成 27 年 11 月号掲載